

## くすり総合学科 3つのポリシー

### ディプロマポリシー(卒業までに身に付けるべき資質)

創薬から販売までの各専門分野で、くすりのスペシャリストとして、薬剤師とともに人々の日々の生活の質の向上に貢献することができるように、常に自己研鑽を怠らない職業人になることを養成目的としています。

1. 学内および学外における研修・実習を通じて社会人基礎力が培われている。
2. 各研究機関・ドラッグストアとの連携により職業人としての人間力、社会人としての身構え、気構え、心構えを身に付けている。
3. くすりのスペシャリストとして各分野で必要とされる知識・技術・資格を取得することで身に付けている。
4. 他者や異文化に対する理解を深め、自らの見解と高い視野を備えた国際感覚を身に付けている。

### カリキュラムポリシー(教育課程の編成、実施方針)

くすりの各専門分野に必要とされる知識・技術を学び、資格を取得するとともに、他者理解、自己理解を深めるためのコミュニケーション能力を身に付けた人材となることを教育目標としています。それを実現するために、「専門職業教育」と「キャリア教育」を体系的に一体化した職業人教育のカリキュラムと国際感覚を身に付けるプログラムを提供します。

1. 産学連携による実習・研修を重視したカリキュラムを提供する。
2. 入学者ひとり一人の人的成長とキャリア設計を支援する。
3. グローバルの中、国際人としての基礎プログラムを提供する。
4. 基礎学力の向上を図るプログラムを提供する。

### アドミッションポリシー(求める人材像)

くすり総合学科で学ぶことを強く望み、資格取得や専門就職に向けて、強い意欲を持って取り組むことのできる以下の人材を受け入れます。

1. くすりの業界で働くことを望み、資格取得や専門就職に向けて意欲を持って取り組める人。
2. 目標に向けて努力できる人。
3. 他者との関わり、コミュニケーションを学ぼうと意欲のある人。